

平和を求めて

33

私の町の戦争跡

終戦に反対した陸軍・一部中堅幹部の反乱もあった

千代田区―北の丸公園―北の丸公園―北の丸公園―北の丸公園―北の丸公園

千代田区の北の丸公園の一角にある東京国立近代美術館工芸館(写真右)。

旧近衛師団司令部庁舎を



18)年六月には「第一



保存活用したもので、陸軍技師・田村鎮(やすし)の設計により一九一〇(明治43)年に建設されました。明治洋風煉瓦造りこの建物は重要文化財に指定されています。玄関脇には「旧近衛師団司令部庁舎」の石碑(写真左下)があります。

明治時代に創設された近衛師団

近衛師団(このえしたん)の前身は明治政府が「天皇の警護」を名目に薩摩、長州、土佐三藩からの献兵で組織した政府直属の「御親兵」。後に「天皇および皇居の守護」の任務をもつ「近衛兵」、やがて「近衛師団」に改称され、一九四三(昭和十八)年六月には「第一

近衛師団といえは一部陸軍青年将校等による終戦反対事件があります。陸軍の一部中堅幹部が、一九四五(昭和20)年八月十四日の深夜から早朝にかけて近衛師団の一部兵力も使って終戦阻止・

終戦に反対・戦争継続をはかった一部幹部

近衛師団、「第二近衛師団」(石碑II写真下)として編成されました。

戦争継続を企てました。計画では、十五日早朝に「宮城」に進入し「天皇の終戦詔書」放送(いわゆる玉音放送)の阻止をはかるというものでした。近衛師団長・森赳(たけし)を殺害して二セの師団命令を出して皇居に近衛師団を出動させ、別働隊が首相官邸や日本放送協会を占拠。しかし「終戦詔書放送」の阻止は、失敗に終わり、首謀者らは自殺しました。

この事件を扱ったのが東宝映画「日本のいちばん長い日」(監督・岡本喜八、原作・大宅壮一、脚本・橋本忍)。

東宝映画「日本のいちばん長い日」



右 第一近衛師団跡
左 第二近衛師団跡



山雄三等が扮しました。近衛師団が駐屯していた北の丸公園一带はいまは静かな雰囲気をかもし出しています。いつまでも平和の緑地であってほしいものです。